

令和3年度  
第1回  
新潟市文化創造推進委員会  
会議資料

令和3年9月6日(月)午後2時～4時  
新潟市文化スポーツ部文化政策課

# 本日の流れ

## 次第

- 1 開会
- 2 現行の新潟市文化創造交流都市ビジョンについて
- 3 次期ビジョンの策定に向けて
- 4 アーツカウンシル新潟について
- 5 その他
- 6 閉会

# 新潟市文化創造推進委員会の役割・スケジュール

## 役割

(所掌事務)

(新潟市文化創造推進委員会開催要綱 第2条より)

委員会は、次の各号に掲げる事項について意見を述べる。

(1) ビジョンの見直しに関すること

→次期ビジョンの策定作業（現行ビジョンの見直し）

(2) ビジョンに基づく事業の成果検証に関すること

→次期ビジョンの成果検証方法（現行ビジョンの成果検証方法の見直し）

(3) アーツカウンシルに関すること

→アーツカウンシル新潟の活動状況について

(4) そのほか、文化創造の推進に関すること

- この委員会は、市政に対する専門的な知識の導入等を目的として開催する「懇話会」です。
- これは、附属機関に準ずる機関ですが、法律又は条例に基づき設置する必要がある附属機関とは異なり、個々の委員から意見を聴取したり、委員同士の意見交換を行ったりする場として開催するものであり、合議体としての審議、答申等を行うものではありません。

## 委員会の開催スケジュール

年度	委員会開催予定	会議の目的
令和3年度	9月6日（本日）	全体像の共有
令和4年度	4月、7月、10月、12月、3月（5回程度）	次期ビジョンの策定

# 現行の新潟市文化創造交流都市 ビジョンについて

# 新潟市文化創造交流都市ビジョンの概要

## 文化創造交流都市ビジョンとは

- 市政の最上位計画である「新潟市総合計画（にいがた未来ビジョン）」の分野別計画に位置付け
- 総合計画の基本構想を実現するための文化政策の基本的な考え方や方向性を示すもの

新潟市総合計画  
（にいがた未来ビジョン）



分野別計画

新潟市文化創造交流都市ビジョン

文化創造交流都市ビジョンのもと、「マンガ・アニメを活用したまちづくり構想（文化政策課所管）」や「食文化創造都市にいがた推進計画（食と花の推進課所管）」を策定し、具体的な取り組みを進めている。

## 計画期間

平成29年度～令和5年度  
（当初は令和3年度までの計画期間であったが、2年延長）

# 新潟市文化創造交流都市ビジョンの概要

## 基本理念

文化芸術が有する創造性を活かして  
まちづくりを進め、市民がいきいきと暮らし、  
将来にわたってまちが活性化する  
新潟市をめざします。

## 新潟市の目指す文化創造交流都市の姿

- ◆ あらゆる市民が文化芸術にいきいきと参画している
- ◆ 文化が人を呼び、新たな雇用を生み、まちの活性化につながることを市民が実感し、誇りにしている
- ◆ 北東アジア<sup>※1</sup>の文化交流拠点都市としての役割を果たしている
- ◆ 東京2020大会を契機に全市で文化プログラムが展開され、その効果が大会後も継承されている

## オリンピック文化プログラムの推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、世界から日本への関心が高まる中、全国各地で文化プログラムが展開される4年間は、本市の魅力を国内外へ発信するまたとない好機です。

本市では、この機会を着実に捉え、大会以降も見据えた多様な文化プログラムを積極的に推進し、文化創造交流都市としての歩みを進めます。

〈オリンピック文化プログラムとは〉

オリンピックはスポーツの祭典であり文化の祭典でもあります。文化プログラムはオリンピック憲章にもうたわれている開催国が実施する文化イベントです。リオ2016大会閉幕から東京2020大会開幕まで日本全国で行われます。

## 基本方針 1

### 市民の文化芸術活動を支援し、次世代への継承を進めます

#### (1) 市民が主体の文化芸術活動への支援

- 子どもや高齢者、障がい者などすべての市民が、気軽に文化芸術を鑑賞・創作・体験・発表できる機会を充実します。
- 地域の自然や歴史、文化の魅力を再発見し、地域への誇りや愛着づくりにつながる取り組みを市民と協働で進めます。
- 文化芸術活動を道じて、障がい者などの社会参画を促進します。
- 市民、NPO、企業、大学など多様な主体が行う文化芸術活動への支援を強化していきます。

#### (2) 文化創造拠点の活性化

- 新潟市民芸術文化会館(リューとびあ)や新潟市美術館といった専門性の高い施設では、市民の文化芸術活動を支援するとともに、質の高い舞台芸術や展覧会の開催などにより、先進的な文化創造を国内外に発信します。
- 地域の文化施設では、住民主体の取り組みが容易になるよう支援します。
- 文化施設の専門性を活かした次世代の育成や文化芸術をより広く市民に届ける活動を推進します。
- 各施設の発信力を高めるとともに、多様な文化的特徴をもつエリア内のゆるやかなネットワーク化により、エリアの魅力を際立たせます。

#### (3) 子どもや若者、アーティスト・クリエイターの育成・支援

- 子どもの豊かな感性や創造力を育むため優れた文化芸術に触れる機会、伝統芸能や文化遺産に親しむ機会を充実します。
- 文化施設の専門性を活かした次世代の育成を推進します。
- 創造的な活動を行う若者の活動を積極的に支援し、文化芸術を創造し支える人材の育成・支援を進めます。
- アーティストやクリエイターの潜在性を伴う活動拠点や発表機会を創出し、その活動を支援することで、創造性に富んだ人材が集まりやすい環境づくりを進めます。

#### (4) 地域文化の継承と発展

- 有形無形文化遺産の収集・保存・調査・研究を継続的にを行います。
- 地域文化の担い手育成を支援するとともに、郷土芸能の発表機会の充実など積極的な活用を図ります。
- 有形文化遺産の魅力を積極的に発信し、その価値の再認識を図るとともに、特色ある文化資源として活用を進めます。

## 基本方針 2

### 新潟市らしい文化の発信と交流により世界の中での存在感を高めます

#### (1) 新潟市らしい文化を国内外へ発信

- 交流人口拡大につながる潜在性が高く、新潟市らしさを際立たせる「みなとまち文化」、「食文化」、「マンガ・アニメ」を中心に戦略的なプロモーションを国内外に展開します。
- 質の高い舞台芸術や独自性の高いコンテンツの海外公演や国内外への発信を支援します。
- 本市のアイデンティティの一つである「水と土」の文化を市民と協働で掘り起こし、磨き上げ、国内外へ発信します。
- 本市の個性ある文化資源と他都市の文化資源がもつ共通のコンセプトにより「点」から「線」、「線」から「面」へとつなぐ、文化による広域連携を推進します。

#### (2) 国内外の創造都市との交流を深める

- 東アジア文化都市<sup>※2</sup>のネットワークや「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」<sup>※3</sup>など、本市の有する国内外の都市間ネットワークを結びつけることにより、北東アジアにおける文化交流拠点としての役割を果たしていきます。
- 姉妹・友好都市や国内外の交流協定都市、東アジア文化都市選定都市との、市民団体や文化施設が主体の文化交流を支援するとともに、都市間での文化交流を推進します。

## 基本方針 3

### 文化の力を活用して都市の活力創出と成長を目指します

#### (1) 文化創造の力を活かした交流人口拡大と地域経済活性化

- 本市の個性ある文化資源と他都市の文化資源がもつ共通のコンセプトにより「点」から「線」、「線」から「面」へとつなぐ、文化による広域連携を推進します。【再掲 基本方針2(1)】
- 本市の拠点性や文化資源を活かしたMICE<sup>※4</sup>の誘致を推進します。
- 新潟市民芸術文化会館(リューとびあ)を国際文化交流の拠点と位置付け、国内外への発信力の高い国際的な文化交流事業を推進します。
- 文化芸術の創造性を活かした新たな産業と雇用の創出を促進します。

#### (2) 社会や地域の課題解決に文化芸術を活用

- 本市全体の施策がより効率的・効果的に推進することを旨とし、市民の生活に密着するあらゆる分野の施策においても文化芸術を多面的に活用します。
- 社会や地域の課題解決に向けて、教育、保健、福祉、環境、地域コミュニティ活性化など様々な分野で、市民、NPO、企業、大学など多様な主体が取り組む文化芸術を活用した活動を積極的に支援します。
- 超高齢社会における心豊かな生活の質の向上と健康寿命の延伸に文化芸術を活用する可能性を探り、取り組みを推進します。
- 文化芸術のもつ創造性を活用し、市民の文化芸術活動を発展させ、地域の課題解決に取り組む人材を育成します。

# 新潟市文化創造交流都市ビジョン 推進のための取り組み

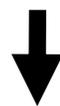
## ビジョンの進行管理

現ビジョンの中では数値を用いた「成果指標」を定めていない

【ビジョン策定時の文化創造推進委員会での意見】

- 文化や芸術に関する成果は数値で表しにくい
- 文化や芸術の成果は短期間では現れにくく、指標で測ることが困難
- 数字だけではなくインタビューなど外部からの評価も必要

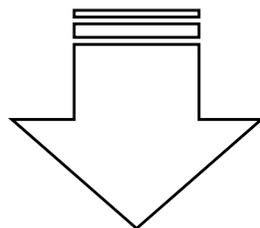
しかし、ビジョンの推進のために成果検証は必要なことから、新たな評価システムの構築に取り組む



1. 市民の行動変容を測る指標項目を設定 資料1
2. 指標に寄与すると思われる事業を選定し、ヒアリングを実施 資料2
3. 全庁的に「文化関連事業」の調査を実施し、取り組みの状況を把握 資料3-①

これらを総合的に判断して評価する

資料3-②



試験的に上記の評価方法を運用  
しかし…

# 新潟市文化創造交流都市ビジョンの課題

## 成果検証方法の確立

- 指標項目の数値推移を把握し、ヒアリングによる指標向上を目指したが、うまく機能していない。

※ヒアリングは、令和元年度に3回（事業によっては2回）、令和2年度に1回実施。ヒアリングによる効果が見出せず、一旦中止。

→（ヒアリング代替案）

文化関連事業調査に「事業を行っていることで得られた成果やエピソード」を調査項目に加える

## 社会経済情勢の変化に対応した、今後の新潟市の文化政策の指針となるビジョンへ

- 現ビジョンの内容が総花的で優先すべき施策が分からない

⇒ 社会経済情勢の変化への対応

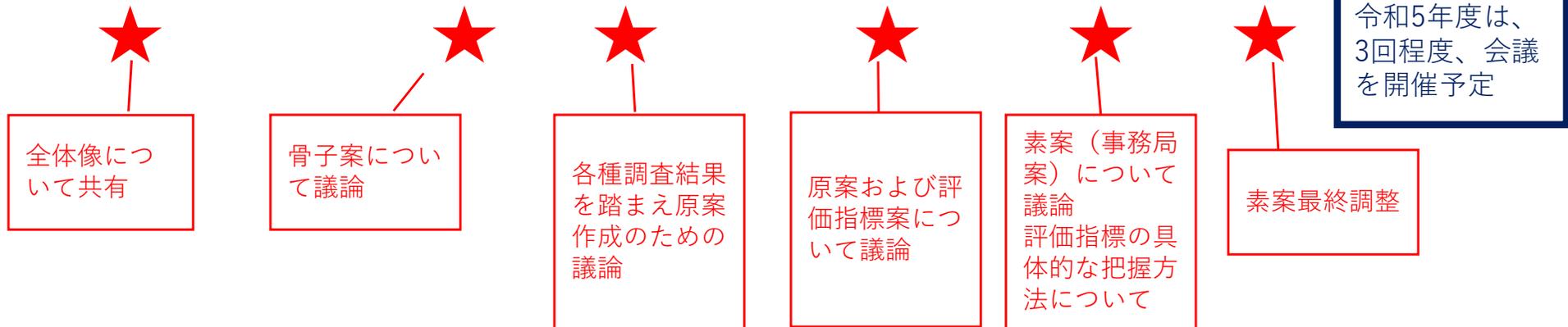
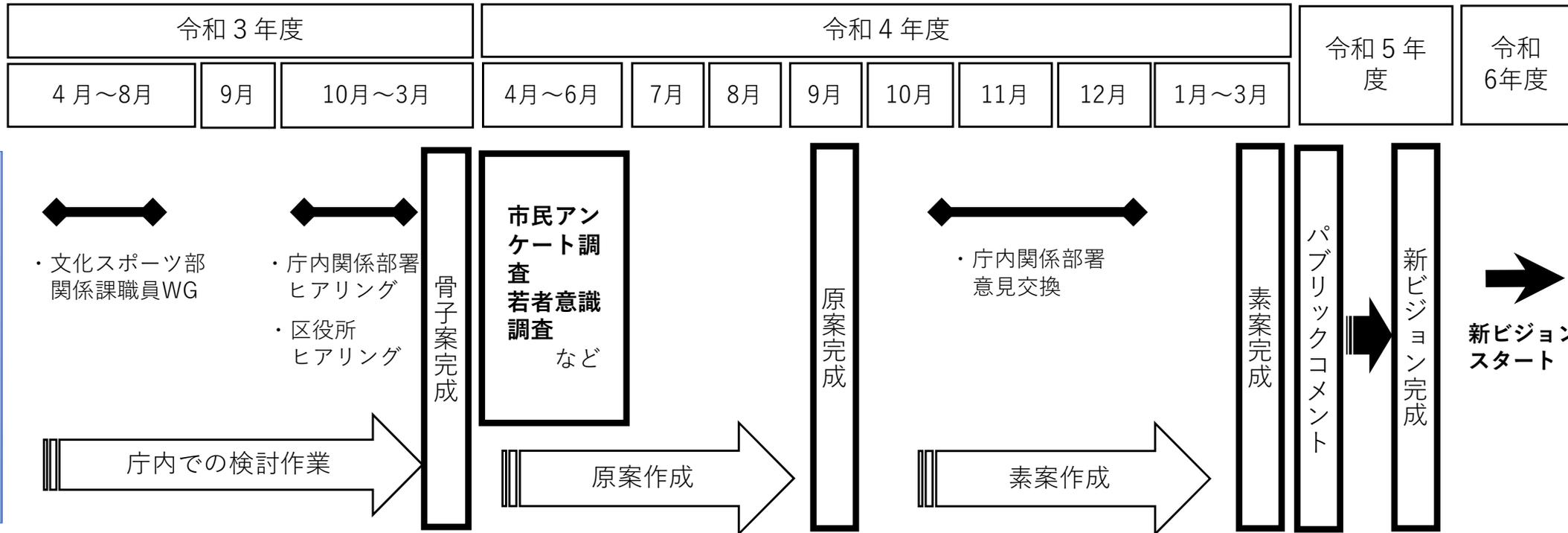
（新型コロナの影響、急速な人口減少、SDGsの推進…）

⇒ 今後の新潟市の文化政策の方向性を分かりやすく明確に定める必要あり。

行政だけでなく、市民や民間事業者にとっても分かりやすいビジョンに。

# 次期ビジョンの策定に向けて

# 次期ビジョンの策定に向けたスケジュール



# 次期ビジョン策定に向けた現在の状況

## 庁内職員による検討作業

### ● 職員ワーキンググループおよび施設職員ヒアリングを実施

ビジョンに職員の意見を反映させることで「自分ごと」になるよう、職員によるワーキングを行った。

- 文化関連所属の係長による策定ワーキンググループ
- 文化関連所属の若手職員によるワーキンググループ
- 歴史文化関連施設を指定管理する外郭団体職員へのヒアリング

### ● 議論した内容

- 文化都市 新潟市のあるべき姿
- 新潟市の強みと弱み
- 活用可能な市内の文化等の資源
- あるべき姿を実現するために実施すべき取り組み など

資料4

最上位計画である次期総合計画(令和5年度～)の策定作業が現在進行中。  
次期ビジョンの策定は、総合計画の策定作業との連動、連携が必要。

資料5

# アーツカウンシル新潟について

資料6-①

資料6-②

# ビジョンの推進とアーツカウンシル新潟

- 全庁的に文化創造交流都市ビジョンの推進に取り組むため、庁内組織として、市長を本部長とする「新潟市文化創造推進本部」を設置。
- 外部の有識者や文化関係者などで構成する「新潟市文化創造推進委員会」を設け、文化創造の推進に関して総合的かつ継続的に助言してもらう体制を整えている。

